

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者個人の希望等聞かぬが、認知症が重度な方はわからなかったり、ある程度わかる方でも他の人と一緒にいいのなかなか自分の希望や要望を伝えない	利用者一人一人が自分の要望を言うことができるようになる	利用者によく会話して、日常会話の中から利用者が何を希望しているのかをくみ取りと共に、確認する	6ヶ月
2	33	現在1/3の方が90才以上の高齢で、身体的にもレベルダウンしてきています。しかし90才以上の高齢の方を他施設へ移動していただくのはリスクがあります。グループホームで生活していただくには限界があり、しかも受け入れていただける施設がすぐにはないのが現状	利用者にとって、一番よい環境や設備で安心した生活ができる場を確保する	早期に家族との話し合いで方向性を決めて、共有する。その為にも普段からの家族との関わりを持ち小さなことでも報告や連絡は細目にする	6ヶ月
3	13	法人としては次期管理者や施設長候補となる人材の育成に力を入れています。しかしながら次期リーダーとなれる人材が育たない事と、離職率が高く人材募集してもなかなか人材不足が解消されず、厳しい現状	施設のトップが不在であっても介護現場や事務関係の仕事、職員の教育ができる人材を増やす	外部からの職員募集や現職員の教育研修を設け人材育成に努める	12ヶ月
4	48	役割に関しては、あまりできない利用者が多く、一人の方に集中しないようにしているが、もう少し何かできないか探してる。	一人一人が毎日楽しく過ごす事ができ、簡単なことでも役割がもてるようになる	利用者個人の日常生活の観察をし、出来る事、出来ない事の区別をつけ、本人の負担にならない程度の仕事をさせていただく	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。